

令和6年度 第1学年 2学期中間テスト出題範囲表

1年 組 番 氏名

日時	教科	範 囲	学習のポイント	その他の連絡 (提出物など)
9月10日 (火) 1校時	英語	<ul style="list-style-type: none"> ◆教科書 p.26~27、p.29~45 ◆ジョイフルワーク本誌 p.32~34、p.36~49 ◆夏休み明け 動詞表現テストの内容 ◆その他授業で扱った内容 	<ul style="list-style-type: none"> □テスト範囲の教科書の本文を、毎日音読する。暗記するくらい音読する。 (リスニングテスト対策になります。) □教科書 p.45 上の表にあるような When, Where, Who, What, How, What~, How many ~などを使って質問や応答ができる。それを書くことができる。 □テスト範囲のワーク本誌・付属ノートをやった後、間違えた問題にさらに取り組む。わからない問題はテスト前までに先生に質問する。 □テスト範囲の教科書の Your Turn のような英文を書くことができる。 	<p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョイフルワーク付属ノート p.11~18 をやって○つけ <p>提出日 9月10日(火)</p>
9月10日 (火) 2校時	数学	<ul style="list-style-type: none"> 2章「文字の式」 ◆教科書 P56~P85 ◆ワーク P36~P61 ◆その他 授業で学習した内容 	<ul style="list-style-type: none"> □いろいろな数量を文字式、等式、不等式で表すことができる。また、文字式、等式、不等式の表す数量が説明できる。 □文字に数を代入し、式の値を求めることができる。 □文字式の計算ができる。 □ワークや教科書で間違えた問題や教科書の章末問題等を自学ノートに書くなど、効果的に自学ノートを活用しましょう。 	<p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーク、自学ノート、授業用ノートの提出については、担当から指示をします。
9月10日 (火) 3校時	国語	<ul style="list-style-type: none"> ◆教科書…77~79、238~241ページ 96~105、126~135ページ ◆ワーク…39~41、50~52ページ 57~65、81~88ページ (※64、87ページは除く) ◆漢字のワーク…漢字マスター夏の陣から ◆文法のワーク…文節、単語についての範囲 ◆国語活用資料集…179、286ページ ◆授業で使ったワークシートまたはノート + 廊下に掲示された詩の中から出題 	<ul style="list-style-type: none"> □漢字を正しく読み、正しく丁寧に書くことができる。 □詩の数え方、表現技法を漢字も含めて正しく書くことができる。 □原稿用紙を正しく使って文章を書くことができる。 □文を文節、単語に正しく分けることができる。 	<p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク <p>提出日 9月10日(火)</p>
9月11日 (水) 1校時	社会	<p>【地理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教科書 P26~43 ◆ワーク P24②~37 ◆トラプリント No.3 ◆パーカクトサマーP14、15 ◆その他授業で配ったプリント <p>【歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教科書 P52~59 (奈良時代) ◆ワーク P18②~19 ◆トラプリント No.12 ◆パーカクトサマーP30、31 ◆その他授業で配ったプリント 	<ul style="list-style-type: none"> □【地理】雨温図を見て、特徴を捉え、地域が特定できるようにする。 □教科書の重要語句（太字）を説明できるようにする。 □自主学習ノートを活用してワークやプリントを何度も解き、答えを見たら問題が思い浮かぶようにする。（目指せ4周！） □教科書にある資料（写真、グラフ、地図など）をよく確認しておく。 <p>※パーカクトサマーの内容は、これまでのテスト範囲と重なっています。必要に応じて教科書等を見直して学習しましょう。</p>	<p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理ワーク ・歴史ワーク ・トラプリント <p>提出日 担当の先生からの指示に従って提出すること。</p>
9月11日 (水) 2校時	理科	<ul style="list-style-type: none"> ◆教科書 P.140~156 ◆基礎をきずく No.9 	<ul style="list-style-type: none"> □教科書に太字で書いてある語句について説明できるようにする。 □教科書にある実験の内容や、密度の求め方、気体の集め方などについて理解しておく。 □「基礎をきずく」の問題を何度も解く。 □「徹底練習プリント 密度」を活用して、計算問題に慣れておく。 	<p>提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> なし